



厚木ロータリークラブ週報

JAPAN 第2780地区

Atsugi Rotary Club Weekly

也幸太也雄
信良雄卓良
川原中部井
市栗畑建金
長事 T
会幹 I
副幹 報
会報

世界に希望を生み出そう

2023～2024 国際ロータリー会長 ゴードン R. マッキナリー

例会場 厚木商工会議所 5F 大会議室

例会日 毎週火曜日 12:30～

事務所 厚木市栄町1丁目16番15号 厚木商工会議所内

<http://www.atsugi-rotary.jp> メールアドレス info@atsugi-rotary.jp TEL.046-222-5811 FAX.046-222-5821

第3059回例会(3月5日)☆司会 柳田純昭SAA

点鐘 …市川信也会長

斉唱 …君が代・奉仕の理想

ゲスト紹介



ドルディエフ ケマル君(米山奨学生)

スマイル

市川信也会長・畑中雄太幹事

本日は創立記念例会です。創立記念日は昭和36年3月7日ですので明後日で63年が経過となります。歴史を感じますね。米山奨学生のケマルさんは本日が最後の例会参加となりますので、会員の皆様におかれましては是非ひと言お声掛けしていただけたら幸いです。

栗原良幸君

今日の創立記念例会開催おめでとうございます。本日ぎっくり腰の為、途中退席致します。すいません。

山本晃久君

先週は結婚記念日のお祝ありがとうございました。16年もたつと、日にちも忘れてしまいました。記念品をいただいた事で顔が立ちました。わが家の平和を守っていただきありがとうございました。

例会「創立記念例会」

担当：市川信也会長

講師：黄金井康巳君

私の入会は平成2年(1990年)7月、30周年記念の年度で、当時37歳の誕生日を迎えたばかりの最年少、それから33年経過し、本多さんの次に古くなった。30周年記念例会の経験者は本多さんと私だけの2名、40周年記念例会の経験者も8名である。厚木ロータリーも創立当時を、直接伝える人がなくなった。幸いにも、私は父がチャーターメンバーで、子供の頃から何かわからないがロータリーという言葉聞き、ロータリーを楽しんでいた父を見て、度ある毎に昔のロータリーは、といった話を聞いてきた。

今後の厚木ロータリーの会員に語り伝え、繋ぐため、昔の厚木と諸先輩会員方から聞いた記憶をたどり、話をさせていただき、記録に残します。

今日のお祝い 「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

* 配偶者誕生日

栗原良幸君(千春夫人18日)

小林 透君(潤子夫人18日)

今日の例会 (2024年3月12日)

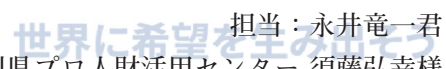
「平和と紛争予防／紛争解決月間」

担当：早寄慶一郎君

次回の例会 (2024年3月19日)

「副業・兼業のすすめ」

担当：永井竜一君
講師：神奈川県プロ人財活用センター 須藤弘幸様



厚木ロータリーの創立総会は、昭和36年(1961年)3月7日。当時、私は小学校2年生で、高度成長期の真っただ中です。

当時父は33歳で入会、加藤一郎さんが28歳で、チャーターメンバーで最年少が加藤一郎さん。下から2番目が父で、その次が小島久美子会員のお父様の小島民章さんでした。

当時、私の祖父がその2年前に亡くなり、父は31歳で家業の造り酒屋を継ぎ、一人で奮闘していた時でした。父がロータリーに入会する切っ掛けは、昭和35年秋に、厚木商工会議所に行った時に、階段で初代会長を務めることになる、飯島さんに呼び止められ、「黄金井君、今度厚木にロータリークラブというのができる。これからの時代は、そういうのに入っていないといけない」とだけ言われたのが切っ掛けだそうです。ロータリーの内容も全く知る事無しに、入会のチャーターメンバーに入れられたとのことでした。

当時の厚木商工会議所は中央通りの相模大橋寄りにあり、本厚木駅は中町大通りと小田急線の交差するガードは無く、平面交差の踏切であった。今の駅は、当時よりだいぶ小田原側に移動した形になる。駅周辺は田んぼで、特に北口は、昭和30年代は盛んに埋め立てが行われていた。駅前がバスセンターになっており、駅正面の丸花食堂の前に、なぜか毎週木曜日の午後に家の車が止めてあるのが不思議に思っていた。その頃、国産4輪乗用車が出たばかりで、日産ダットサン乗用車で、当時ダットサン乗用車は厚木では2台しか走っていない時間で、毎週決まった曜日・時間に丸花前に車が止めてあり、子供心に不思議に思っていたが、実はそれがロータリーだった。

創立総会は昭和36年3月7日で、第1回例会は昭和36年3月16日。

RI承認は昭和36年5月8日で、承認までは仮クラブ。

5月17日電報で承認通達され、翌日5月18日の第10回例会で会長から一人一人にバッチの授与があったと聞いている。

初代会長は、飯島策司さんで、第3代厚木会議所会頭。関屋映興(有)という、厚木キネマ(映画館)を東町の歩み橋北側で経営していた。

スポンサークラブは平塚ロータリークラブで、特別代表は鹿島孝二さん(平塚ロータリークラブ)。鹿島特別代表は、作家で若かりし頃には、直木賞の予備候補にもなった人だった。

ガバナーは、田誠さん(田英夫：キャスター・社民党代表の父)。

地区は東京、神奈川、千葉、埼玉、山梨、静岡の広範囲にわたり、分区が神奈川県であった。

当時、新クラブ誕生が活発に行われ、クラブ数が急に増え、同年の昭和36年7月より神奈川県は横浜・川崎と県西部に分区が分かれた。

現在の2780地区の系統図、家系図を別紙に示します。

東京クラブからの枝分かれが、横浜クラブで、神奈川県クラブは、皆そこから分かれてきている。横須賀にはいち早くクラブができ、これは米軍基地があるからです。その後は東海道線の主要駅、主要都市の藤沢、小田原、平塚、その後の茅ヶ崎にでき、以降はこれらの海沿いのクラブから、県央地域に子クラブが作られる。

平塚から厚木、秦野に広がり、そこから各地域に広がり、子クラブ、孫クラブと、県内広くに広がってゆく。今の第6グループは平塚由来の厚木・海老名群と藤沢由来の大和・座間・綾瀬群から成っている。

現在で言う地区大会は、当時は年次大会と呼び、3日間の泊りがけで、親睦ゴルフ、前夜祭懇親会、大会1日目、大会2日目はエクスカージョンなど行われ、宿泊+夫婦同伴などで出かけていた。

地区が、東京、神奈川、千葉、埼玉、山梨、静岡だったので、年次大会も開催地は東京、甲府、千葉、大宮、横浜、浜松など、毎年県外で行われ、大勢の会員が参加していた。

また、地域を超えて、別の地区の年次大会にも、旅行を兼ねながら、他地区のロータリーを見たくて参加していた。

例会は木曜日で、創立当時は商連の方が多かったため、当初は多くの商店が定休日の木曜日に行われていた。その後、定休日である木曜が休めないというクレームが多くなり、例会日は木曜から今の火曜日に変更となった。

例会場は本厚木駅前丸浜食堂 今のシティホテルのあたりで、例会の司会進行は会長が行っていた。

当時、ロータリーが何かもわからず、毎週の例会には何をやっていいかもわからない状態で、たまたま、チャーターになる横浜銀行の三枝支店長さんが唯一、横浜でロータリーの経験があり、三枝支店長さんに指導してもらい、例会はこうやるというのがわかった。

例会が始まって間もなくで、三枝支店長さんに転勤辞令が降りて、まだチャーターナイトの前なので大変に困って、浜銀に掛け合い、ロータリー教育とチャーターナイトのために、三枝支店長の転勤を半年延長してもらった。

チャーターナイトは認証状伝達の記念例会と晚餐で、昭和36年11月22日に行われ、ソニー厚木工場の食堂で行なった。チャーターナイト当日は、米軍の厚木基地（綾瀬市）の米海軍厚木司令部から、司令官、大佐、少将など7～8名の参加あり、海兵隊のバンドがロータリーソングの伴奏を行った。

準備段階では、チャーターナイトの当日に米軍基地の見学やゴルフなど予定されていたようですが、直前に米軍からキャンセルされ、急遽 厚木ナイロンの工場見学を堀副会長のご厚意で行った。当時TVCMしていた「アツギのタイツ」シームレスストッキングの製造工場の最前線が公開され好評だった。当時の厚木には、ソニーと厚木ナイロンしか知名度があるものはなかったが、厚木ナイロンも海老名市で、厚木基地も綾瀬市で、皆川向こうでしたので、今考えると寂しい限りです。

当時、新たなクラブが県内のいたるところででき、母も一緒に夫婦で良くチャーターナイトに出かけており、引出物がロータリーグッズと当時では珍しいクッキーなどの洋菓子だった。家にはロータリーマークの入った食器類が沢山あり、これも洋食器で、今考えると洋風に憧れ、日常生活も欧米化の一途を辿った真っ最中だったのかと思う。

子供の頃から、家には多くのロータリーグッズがあり、記憶をたどると思わぬエピソードがあるので紹介する。

当時の自宅には、「4つのテスト」が書かれた暖簾様の吊り下げ旗（タペストリー）が茶の間に下げてあったが、読んだことも無かった。

20年程たって、私が社会人になり、昭和55年の27歳の時、研修先の岐阜の病院で、毎朝病院の朝礼があり、朝礼の最後に、

言行はこれに照らしてから、

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか 、を全員で唱和するというものだった。

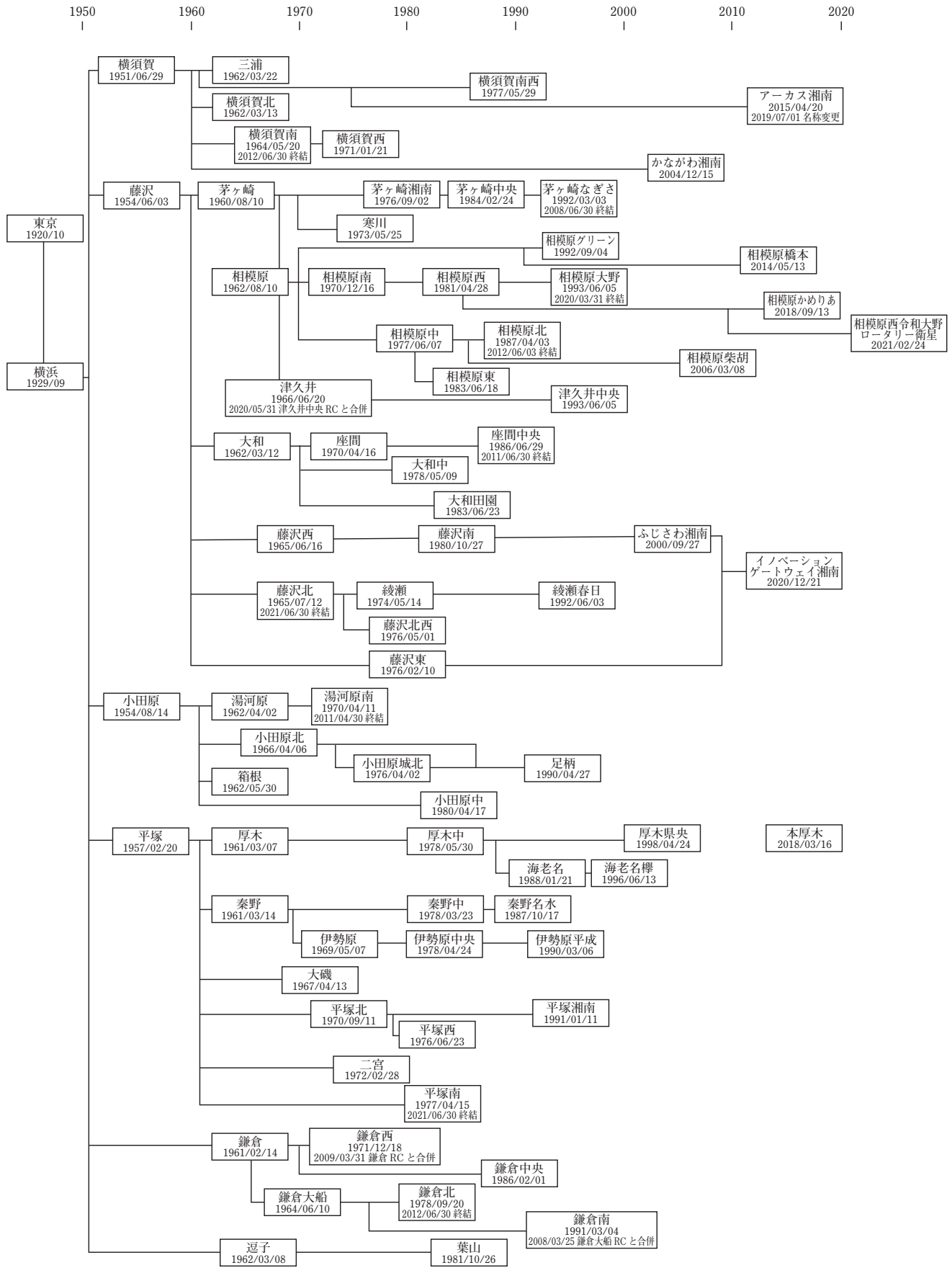
初めは、内容の意味が解らなかったが、何度か耳を通っていると、ふとどこかで、見たか聞いたかしたと気づく。実家に帰った際に、まさかと思ったら、案の定「4つのテスト」でした。

後で分かった事ですが、その院長は、村上治朗氏で岐阜ロータリークラブで、ガバナーまでを務めた人で、徹底したロータリアンの病院でした。

子供の頃の記憶に知らぬ間にロータリーが刷り込まれていたという、びっくりする出来事にロータリー入会以前に遭遇しました。皆様方も、お子さんやお孫さんの記憶にロータリーを刷り込んでいただきたいと思います。そうなれば厚木ロータリーの将来の増強も大変に楽になるのかと思います。

あたかも見てきたかのような話をしましたが、皆様も記憶の中に厚木ロータリー創立の当時のイメージを作ってください、次の「語りべ」に語り繋げていただければ幸いです。

【地区内ロータリークラブ系統図】





出席報告 <会員 36 名、出席対象 32 名>

2月20日例会 確定出席率 93.55%
 <事後メイク>
 長岡正敏君(2月23日/厚木県央RC)

3月5日例会 出席 29 名 欠席 3 名 出席率 90.63%
 <欠席>
 常磐重雄君・黄金井陽介君・鈴木茂男君